

# 「良識の府」試行錯誤



中日新聞東京本社  
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号  
〒100-8505 電話 03(6910)2211

## 少数意見にも懐独自色は薄く

参院選は、七月二十一日投票の日程で行われる見通しだ。参院の役割と仕事とは何か。なぜ国会では衆院と参院があるのか。選挙を前に参院の歴史をたどり、存在する意味を掘り下げた上で、有権者とともに一票を投じる意義を考えたい。

### 参議院考

上

「救える命が次々と失われているのは政治や行政、社会の対応が遅れているからだ」  
二〇〇六年五月の参院本会議。民主党の山

本孝史「当時全盛」は演壇からがんだ政策、自殺対策両基本法の成立を訴えた。自らのがんも告白した。  
「救える命が次々と失われているのは政治や行政、社会の対応が遅れているからだ」  
二〇〇六年五月の参院本会議。民主党の山

衆院と参院の違い

衆院	参院
480	定数 242
25歳以上	被選挙権 30歳以上
300小選挙区	選挙区 都道府県単位
全国11ブロック	比例代表 全国1区
4年	任期 6年
あり	解散 なし
あり	首相指名の優越 なし
あり	予算・条約の優越 なし
できる	内閣不信任決議 できない
できる	改憲の発議 できる
できる	一般法案の提出 できる
できる	法案の再議決 できない

民、公明、民主など自野党が自殺対策基本法制定へ地道な議論を続けていた。山本の訴えで立法の動きは加速、参院側の動きも、与党と民主党が別々にがん対策基本法案を提出していた参院側も歩み寄り、両基本法は議

員立法で成立した。山本は翌年、五十八歳で他界した。後日、参院本会議で追悼演説に立ったのは、ライバル政党ながら両法成立に尽力した自民党の参院議員会長尾辻秀久。党派を超えて共鳴した場面だった。

政権選択の主戦場

良識の府

い。参院が動いたから成立した」  
参院は戦後、現憲法とともに貴族院に代わって誕生した。任期六年で解散はない。対する衆院は任期四年で解散がある。衆院が憲法で首相指名の優越を認められ、政権の枠組みを決めるのに対し、参院は首相を選べないのも大きな違いだ。

つまり参院は設計上、権限が制約されている。代わりに政府、衆院と距離を保ち、安定した立場から双方に行きすぎや怠慢があらわれれば正す機能を期待されている。「良識の府」と呼ばれるゆえんか。参院は常に選出を意図する衆院より与野党が協力しやす数が当然と思う「常識」には、大多数

識にも、客観的な自派となり、政党が議線から疑問を持つる知性のこと。目先の損得にこだわらず、必要なら少数意見も吸い上げる懐の深さが求められる。衆院に対し、参院の存在意義だと自負する議員も多い。

「ねじれ」時代に突入  
選挙の後、与野党逆転の「ねじれ」時代に突入してこゝろ。

たせるか。試行錯誤の連続だった。一九九七年、参院の重鎮として改革に力を注いだ議員の齋藤十朗は、議員在職二十五年表彰の謝辞で、参院の存在意義が高まらないものか、しさを率直に口にした。

（金杉貴雄、敬称略）